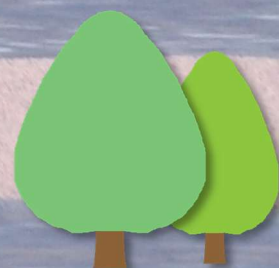


ウトナイ湖通信



No.269

2026年10月号



ガン類に引き続き、10月はオオハクチョウやコハクチョウ、カモ類などもウトナイ湖へ渡ってきます。南への渡りの途中に一休みする水鳥たちを、ぜひウトナイ湖で探してみてください。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

「とまチョップ図書館」もやってくる！
ウトナイ湖の生きもの工作

10月10日(土)

【工作】11:00~14:00

①アイロンビーズで「シマエナガ」を作ろう(先着30名)

②毛糸のポンポンで「オオワシ」を作ろう(先着30名)

●対象: どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●申込: 不要。直接センターへ

13:30~
絵本読み聞かせ

【図書館号】13:00~14:00

※東胆振の図書館利用カードで貸出もできます。

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

10月11日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、
屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員: 10名程度 ●対象: どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●申込: 不要。直接当センターへ

市民ギャラリー

環境省 アクティブ・レンジャー写真展

北の自然の舞台裏 2026

展示期間: 2026年10月21日(水)~11月23日(月・祝) 展示: 環境省



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市字植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間: 午前9時~午後5時 / 入館無料

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

10月 イベント情報

ウトナイ湖・秋の渡り鳥 DAY

10月18日(日) 9:30~16:30

事前申込イベント

講演会

「市民科学とは？」

みんなで調べる 苫小牧の自然

10:00~12:00 定員: 先着40名(当日受付含む)

体験会

「野鳥調査にチャレンジ」

13:30~15:30 定員: 先着15名

●対象: どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●申込: 10/1(木)~10/17(土)までに当センターへ電話

館内にて
おたのしみコーナーも
開催予定!



第4回 野生動物に学ぶ救護セミナー「ヒグマを知ろう」

10月31日(土)10:00~12:00

人と野生動物の共生・共存を考えるセミナーです。今回のテーマは「ヒグマ」です。

●定員: 先着40名 ●対象: どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●申込: 事前申込制。10/1(木)~10/30(金) 電話または直接センター窓口へ

3施設合同スタンプラリー開催!

10月1日(木)~11月3日(火・祝)

スタンプを集めて景品をGET!

詳細は当センターSNSをご覧ください



傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。

ヤブサメ

体重 7 g



搬入時の様子



体の動きに異常がないか確認中

原因：建物への衝突疑い

9月10日 朝8:30頃、住宅地の前で横たわっていたところを市民に発見保護され、保護センターに搬入。

搬入当時、目をつむっていたが、触診による身体検査では異常を認めなかった。

ケージに移しかえ、動きを確認したところ、動作にも異常が認められなかったため、同日中の自然復帰可能と判断。

リリース

リリースの際、しっかり飛ぶ姿も確認。

ヤブサメ (スズメ目 ウグイス科)

体長 11cm の小さな鳥で、尾羽が非常に短いのが特徴です。北海道へは夏鳥として飛来します。

まるで虫の声のような「シシシシ…」と独特な鳴き声をしています。

平地から低山の森林に生息し、主に昆虫(アブラムシ、ハエ、カ、アリなど)やクモなどを食べています。

トピックス



野生動物に学ぶ救護セミナー

苫小牧市のアオバトの暮らし

株式会社地域環境計画の松岡和樹氏を講師にお迎えし、アオバトの生態や人との関わり、子育ての様子など、貴重な動画や写真を交えてお話いただきました。セミナー終了後も質問が相次ぎ、参加者の関心の高さが伺えました。



本年度最後

第4回救護室バックヤードツアー

9月12日に、非公開の治療室やリハビリゲージなどを案内するツアーを開催しました。12名の方に、収容されている野鳥の体重測定や給餌など、実際の作業の様子をご覧いただき、「貴重な体験ができた。」といった声が聞かれました。



ボランティアコーナー

8/1、2に開催した「夏の生きもの探し」にボランティアとして参加された たくら さんにインタビューしました。

「夏の生きもの探し」のボランティアをしようと思った理由はなんですか？

6月にボランティア登録したばかりの初心者ですので、イベントを通して、ウトナイ湖の自然や野生生物について知ることができたらと思い、参加しました。

活動してみた感想を教えてください。

事情により、館内での時間が増えたにもかかわらず、子供たちが元気いっぱい楽しそうに生きもの探しをやってくれて、その様子を見てとてもうれしくなりました。

印象に残ったことがあれば教えてください。

レンジャーさんやボランティアさんは、訪れてくれたみなさんの自然や野生生物に関する興味の扉を開いてくれる存在なんだなあ、と感じました。その扉を開かれた一人として、これからウトナイ湖周辺の自然環境を知り、大切に守っていかれたらと思います。

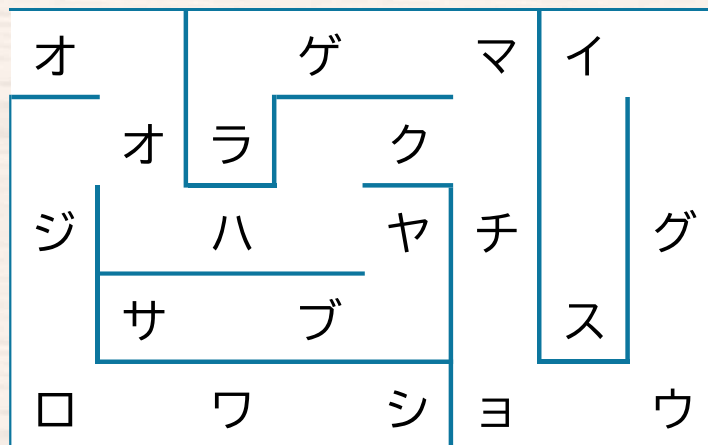


班の望遠鏡を運ぶ
たくら さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー【ウトナイ湖 野鳥めいろ】

スタートからゴールまで、めいろを通り抜け、正しい道にある文字を読むと、でてくる野鳥の名前は下の3つのうち、どれでしょう。

スタート



ゴール

- ①オジロワシ
- ②オオアカゲラ
- ③オオハクチョウ

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



レンジャーのおすすめ自然情報



黄色い部分が黒い部分に食い込む



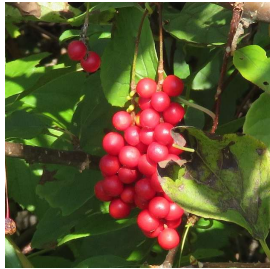
黄色い部分が黒い部分に食い込まない

【オオハクチョウ】

全長140cm。ウトナイ湖で越冬する個体もいるため、10月～4月まで姿が見られる。

【コハクチョウ】

全長120cm。ほとんどが本州へ渡るため、ウトナイ湖で姿が見られるのは11月頃まで。



【チョウセンゴミシの実】

つる性の樹木。「チョウセン」とつくが在来種。バリアフリー観察路沿いで見られる。



【ヤマウルシ】

林の観察路で紅葉が見られる。かぶれるため、触らないように注意。野鳥が好んで実を食べる。

ハクチョウ類がウトナイ湖にやってくる時期になりました。例年、10月上旬～中旬頃に飛来し始めます。オオハクチョウとコハクチョウ、くちばしの模様をポイントに見分けに挑戦してみてください。

観察路では、ヤマモミジやヤマウルシなどの紅葉が見られます。深まるウトナイ湖の秋をぜひお楽しみください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【秋】

